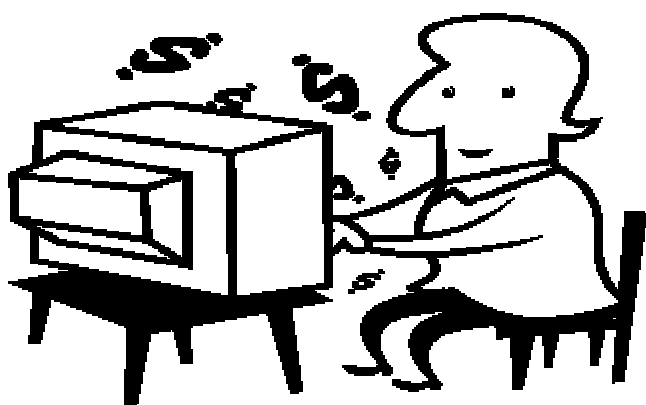


ポキスケ流

楽 副業術

【実践講座】

シーサーブログアフィリエイトカスタマイズ編



INFO
SNIPER

1

(C) 2005 Info-Sniper

<http://www.info-sniper.com>

All Rights Reserved

「ボキスケ流 副業術【実践講座】」(以下、レポートという)は、著作権法で、保護されている著作物です。

現在、行政書士時枝寛事務所(福岡県行政書士会会員 会員番号 04012 号)に、[著作物存在の事実証明]の取得申請も依頼中です。

レポートの使用に関しては、以下の点にご注意ください。

レポートの著作権は、著者である、インフォ・スナイパーに属します。

著作権者の事前許可を得ずにして、レポートの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、ビデオ、テープレコーダーおよび電子メディア、インターネット等)により複製および転載することを禁じます。以上に記載した行為により著作権者が不利益を被ったと判断した場合、該当する行為を行った者に対し、著作権法等、関係法規に基づく手続きにより法的手段により損害賠償請求などを行う場合があることを御了承ください。

このレポートで取り上げられた情報は、作成された時点での著者の見解であります。状況の変化に応じて、著者は、このレポートで表示した見解とは異なる見解を新しい変化に応じての表現を行う権利を有しています。

このレポートに関しては、適切かつ信頼に足る情報を提供しておりますが、いかなる誤り・不正確・不作為に対して著者・出版元・アフィリエイトパートナーなどに代表される業務提携者は一切責任をおうものではないことを御了承ください。

また、法律、その他の分野に関する専門的なアドバイスを与えかねること、利益や特定の目的に対する適合性を保障しかねること、このレポートを使用することによって生じた、いかなる結果に対しても責任を負わないことも御了承ください。

目次

- 1: 日付を消してしまおう..... 4 P
- 2: タイトル文字の大きさを調整..... 11 P
- 3: 誰が書いたかなんて、どうでもいいでしょ？(笑)..... 16 P
- 4: 検索エンジン上位表示対策のための、ちょっとした小技..... 22 P
- 5: 訪問者おもいの優し～カスタマイズ..... 27 P

日付を消しちゃいましょう

The screenshot shows a blog post header with the title "Reggaeton! レゲトン! って何なのさ?" and a subtitle "レゲトン! Reggaeton徹底検証!". Below the header is a large image with the word "Reggaeton" in red script. To the right of the main image are smaller images of reggaeton artists like Daddy Yankee, Tego Calder, and Don Omar. Below the header, the date "2005年12月20日" is circled in red. The main content area shows a thumbnail for a magazine cover featuring Amerie. To the right of the main content are sections for "新着記事" (New Articles), "最近のコメント" (Recent Comments), "最近のトラックバック" (Recent Trackbacks), and "カテゴリ" (Categories).

今回は、まず、赤丸で囲んだ、「日付」を消す方法です。

そもそも「ブログ」は、「インターネット上で公開する日記」というニュアンスで出来上がったものなので、ほとんどのブログサービスの初期設定では、上記のように、記事を投稿するたびに、その記事を投稿した日付が表示されます。

あなたが、もし、日記をつけるために、ブログを作成しているのならば、日付はそのままでよいでしょう。

しかしながら、「副業術」という観点で見ると、やはり「商品の紹介」も行なうでしょう。

アフィリエイト商品を紹介する記事を書くのに、「日付」は必要ありません。
これについて、もう少し詳しく説明するならば、

たとえば、あなたが、アフィリエイト商品の記事を、今日、書いたとします。
もちろん、日付は、今日の日付が入りますよね？

そして、2年後、その商品を探している方が、偶然、あなたのブログにやってきました。

訪問者の目の前には、2年前の日付。さあ、どんな印象を持たれるでしょうか？

多くの訪問者は、「この記事は古い」と思うでしょう。
これが、まず、ブログに日付を表示させるデメリットです。

また、あなたのブログが、検索エンジン上位表示対策が成功して、検索エンジンから、
毎日のように、新しい訪問者がやってくるようになったとします。

そのときに、頑張って、毎日さくさく更新していればいいですが、多くの場合、なかなかそうはい
かないですよね？

せっかく新しい訪問者が来たとしても、最新記事の日付が、2年前の日付だったら……

そのようなことをふまえ、今回の内容をマスターしていただくと嬉しいです。



それでは、さっそく説明に入ります。

シーサーブログにログインして、「デザイン」「HTML」とクリックします。



「HTMLの追加」をクリックします。



「HTML名」の部分に、なんでもいいので適当な名前をつけます。

```
<% if:have_content_left -%>  
<div id="links-left">  
<% content_left %>  
</div>  
<% /if -%>
```



保存

「HTML名」に適切な名前をつけたら、「保存」をクリックします。

HTML名	適用
デフォルトHTML	<input type="radio"/>
カスタマイズ	<input checked="" type="radio"/>

HTMLを適用

「適用」のチェックを、カスタマイズのほうにして、「HTMLを適用」をクリックします。

設定を完了しました。

再構築する範囲:

※再構築を行う際には、必ず「再構築の範囲」をご確認ください。

なにかを変更した場合は、かならず「再構築」を行ないましょうね。

HTML名	適用
デフォルトHTML	<input type="radio"/>
カスタマイズ	<input checked="" type="radio"/>

再構築が終了したら、「カスタマイズ」をクリックします。

```
カスタマイズ
</form>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'search' -%>
<% loop:list_article %>
<div class="blog">
<h2 class="date"><% article.createstamp | date_format("%Y年%m月%d日") %></h2>
<div class="blogbody">
<h3 class="title"><a href="<% article.page_url %>" class="title"><% article.subj
<div class="text"><% article.entire_body | text_summary(240) %></div>
<div class="posted">posted by <% article.nickname %> at <% article.createstamp |
</div>
```

今回、変更する「日付」の部分は、上記の赤線でアンダーラインを引いた部分です。

```
カスタマイズ
</form>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'search' -%>
<% loop:list_article %>
<div class="blog">
<div class="blogbody">
<h2 class="title"><a href="<% article.page_url %>" class="title"><% article.subj
<div class="text"><% article.entire_body | text_summary(240) %></div>
<div class="posted">posted by <% article.nickname %> at <% article.createstamp |
</div>
```

以上のように、さくっと削除してしまい、かつ、**< h3 class="title" >** を、**< h2 class="title" >** に変更し、



そのまま右にスクロールさせて、さきほど変更した **<h2 class="title">** を閉じる意味の、**</h3 >** タグを、**</h2 >** に変更して、「保存」をクリックします。

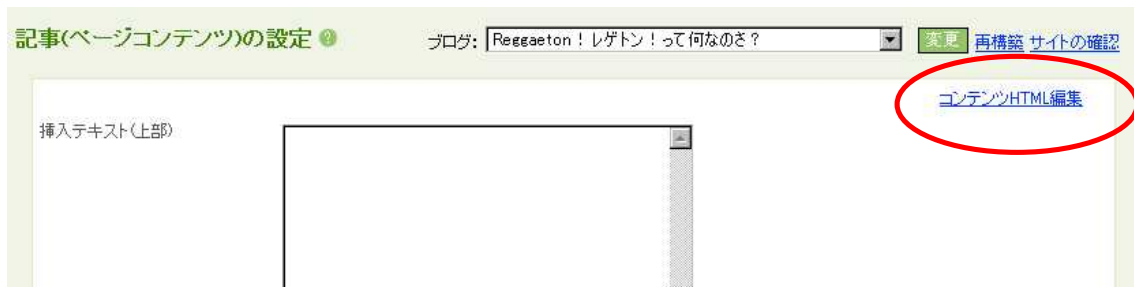
「保存」をクリックしたら、「再構築」を忘れずに



続いて、「コンテンツ」をクリックします。



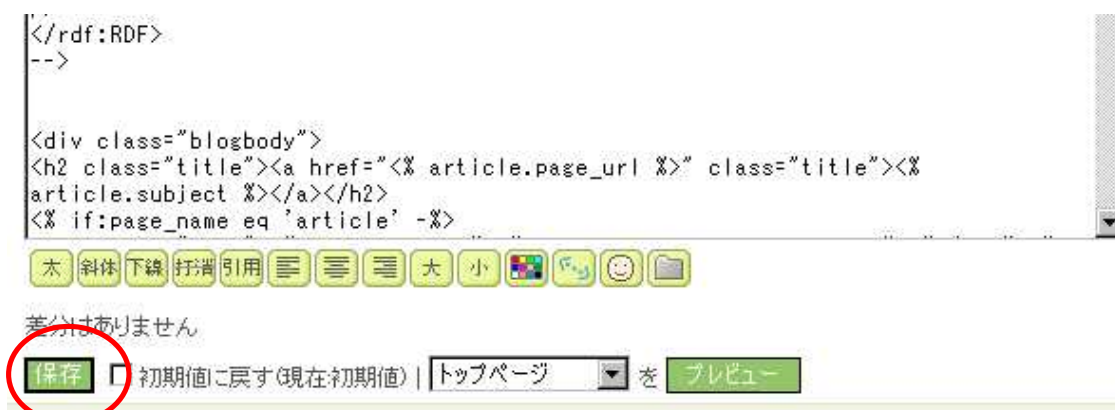
「記事」をクリックします。



画面右側の「コンテンツHTML編集」をクリックします。

```
記事(ページコンテンツ)
dc:creator="<% article.nickname | nl2br | tag_strip | xml %>"
dc:subject="<% article_category.name | nl2br | tag_strip | xml %>"
dc:date="<% article.createstamp | date_format("%Y-%m-%dT%H:%M:%S+09:00") %>"
/>
</rdf:RDF>
-->
<% if:with_date %><h2 class="date"><% article.createstamp | date_format("%Y年%m
月%d日") %></h2><% /if %>
<div class="blogbody">
<h3 class="title"><a href="<% article.page_url %>" class="title"><%
article.subject %></a></h3>
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="text"><% if:diet_log %><% include:article_diet_file %><% /if %><%
article.entire_body | bodyfilter(article_info,blog) %></div>
<% else -%>
```

先ほどと同じ要領で、赤い四角で囲んだ部分を削除し、「h3」と書いてあるのを、「h2」と変更します。



修正したら、「保存」をクリックして、再構築を行ないます。

タイトル文字の大きさを調整



以上の作業で、上記のように、日付が削除されます。

しかしながら、タイトル文字が大きくなって、少し不細工になってしまいました。
次に、このタイトル文字の大きさを調整します。



「デザイン」「スタイルシート」「light pole」とクリックします。



変更後のタイトル部分(h2)のサイズを変更するには、以上の赤枠部分に、文字の大きさを表す、「**font-size: ○○(あなたが表示したいサイズ)px;**」という文字を付け加えます。

```
h2 {  
padding: 0px;  
font-size:14px;  
font-weight:bold;  
text-align:left;  
}  
  
h3 {  
font-size:12px;  
font-weight:bold;  
padding: 20px 0px 15px 0px;  
}
```

プレビュー スタイルシートを変更する

今回は、「**font-size:14px;**」という文字を赤線の部分に挿入しました。
「スタイルシートを変更する」をクリックして、その後、再構築しておきましょう。



すると、このように、タイトル文字のサイズが変更されます。



しかしながら、このままでは、まだ不完全です。
新しい記事を書いてみるとわかりやすいですが、タイトルの「とりあえず…」という部分と、本文の「あれ? ……」という部分が、このままだと、行間が詰まっていて、デザイン的に、よろしくありませんよね?

記事(ページコンテンツ)

```
<div class="blogbody"><BR>
<h2 class="title"><a href="<% article.page_url %>" class="title"><%
article.subject %></a></h2><BR>
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="text"><% if:diet_log %><% include:article_diet_file %><% /if %><%
article.entire_body | bodyfilter(article_info,blog) %></div>
<% else -%>
<div class="text"><% if:diet_log %><% include:article_diet_file %><% /if %><%
article.first_body | bodyfilter(article_info,blog) %></div>
<% /if -%>
```

さきほどと同じ要領で、「デザイン」「コンテンツ」「記事」「コンテンツHTML編集」とクリックして、以上のように、**<h2>**の前と、うしろに**
**を書き込みます。



すると、以上のように、かなりすっきりした感じに仕上がります。

誰が書いたかなんて、どうでもいいでしょ？(笑)

とりあえずテストでもうひとつ書いてみた。

あれ？タイトル文字と、記事の書き出しの間隔が詰まっていて、なんか変な感じじゃあ～りませんか？

そう思うのは、私だけ？(←だいたひかる風)

posted by natty at 19:51 | [レイトンとは](#)

私は、この「posted by…」という部分も気になりますので、今回、これも消してしまいます。

記事(ページコンテンツ)

```
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="text"><% if:diet_log %><% include:article_diet_file %><% /if %><%
article.entire_body | bodyfilter(article_info,blog) %></div>
<% else -%>
<div class="text"><% if:diet_log %><% include:article_diet_file %><% /if %><%
article.first_body | bodyfilter(article_info,blog) %></div>
<% /if -%>
<div class="posted"><!--posted by <% article.nickname %> at <%
article.createstamp | date format("%H:%M") -%>-->
<% if:article_weather -%>
| <% article_weather.state %> <% article_weather.weather_emoji -%>
<% /if -%>
```

「デザイン」「コンテンツ」「記事」「コンテンツHTML編集」の部分、再度、開き、

赤線のアンダーラインを引いた `posted by` から `% >` の部分を、
`<!--` と、 `-->` で、囲みます。

(注意:半角文字で書きましょう)



いかがでしょうか？

最初の記事風なイメージから、だいぶ脱却できたような気がしませんか？

さて、この、表示したくないものを < ! - - と、 - - > で囲むと、表示されないという
ことは、覚えておくと、他のことにも応用がきます。



たとえば、シーサーブログの初期設定のままでは、図のような「新着記事」の部分に、
日付が表示されるようになっていますが・・・



「デザイン」「コンテンツ」をクリックして…

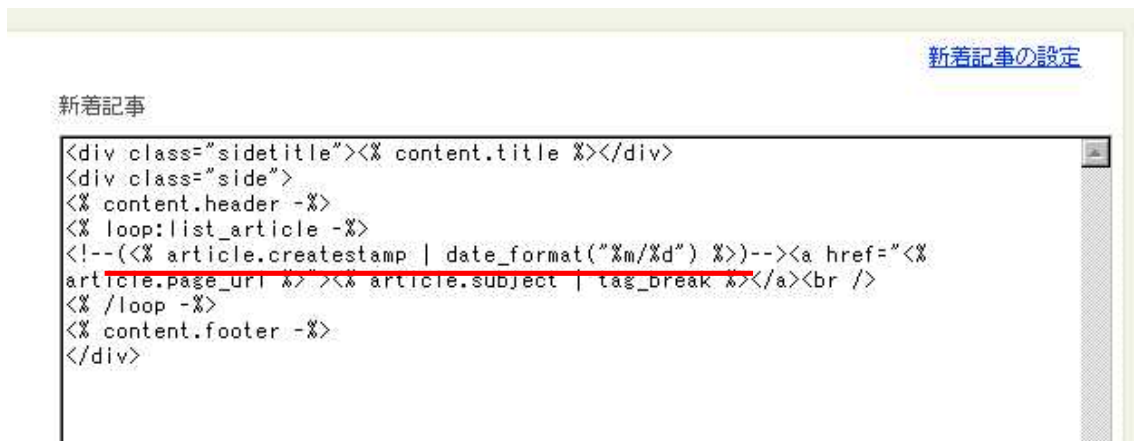
コンテンツ一覧 全ページ ページの変更

削除	タイトル	種類
<input type="checkbox"/>	ブログ名	ブログ名
<input type="checkbox"/>	ブログ説明	ブログ説明
<input type="checkbox"/>	記事	記事(ページコンテン..
<input type="checkbox"/>	新着記事	新着記事
<input type="checkbox"/>	カテゴリ	カテゴリ
<input type="checkbox"/>	RDF Site Summary	RDF Site Summary
	Powered By	Powered By

「新着記事」をクリックして…



「コンテンツHTML編集」をクリックして・・・



上記の、(< % article.createstamp % >)という部分が、(12 / 3)というように日付をあらわす部分なので、これを、 < ! - - と、 - - > で囲んでしまい、「保存」「再構築」を行なうと・・・



すると、このように、日付が表示されなくなります。

なお、赤丸で囲んだ「新着記事」というタイトル文字の部分も、



先ほどと同じ要領で、この画面まで進んでいただき、「タイトル」の部分を変更して、「保存」「再構築」を行えば・・・



このように、タイトル文字が変更されます。

あなたが、もし、ブランド物のバッグなどのアフィリエイト、いわゆる物販系のアフィリエイトをブログで行なおうとしているのならば、この部分を、「新商品情報」としてみるのもよいでしょうね。

いかがでしょうか？最初は、ただの日記っぽかった初期設定のブログが、ほんのちょこっとカスタマイズしただけで、大きく変わったと思いませんか？

アフィリエイトプログラムなどにより、ブログで収入を得ようと思えば、こういった見た目の部分も大事です。

あなたが、もし、ブランド物のバッグを、インターネットで購入しようと思っているとして、「日記調のブログ」から購入するでしょうか？

それとも、ショップのようにカスタマイズされたブログから購入するでしょうか？

少し考えてみてくださいね。

さて、以上で、今回の、ちょこっとカスタマイズは、終了ですが、最後に、検索エンジン上位表示対策のための「小技」をひとつ紹介しましょう。

検索エンジン上位表示対策のための、ちょっとした小技

とりあえずテストでもうひとつ書いてみた。

あれ？タイトル文字と、記事の書き出しの間隔が詰まっていて、なんか変な感じじゃあ～りませんか？

そう思うのは、私だけ？（←だいたひかる風）

| [レゲトンとは](#)

シーサーブログでは、赤丸で囲んだ「記事タイトル」をクリックすると、個別記事のページが開きます。

<<[レゲトンとは？いよいよ一般層にもレゲトン旋風が](#) **Main**

とりあえずテストでもうひとつ書いてみた。

あれ？タイトル文字と、記事の書き出しの間隔が詰まっていて、なんか変な感じじゃあ～りませんか？

そう思うのは、私だけ？（←だいたひかる風）

| [レゲトンとは](#)

そして、個別記事ページを開くと、上記のように、トップページへ戻る という意味の「Main」というリンク文字が現れます。

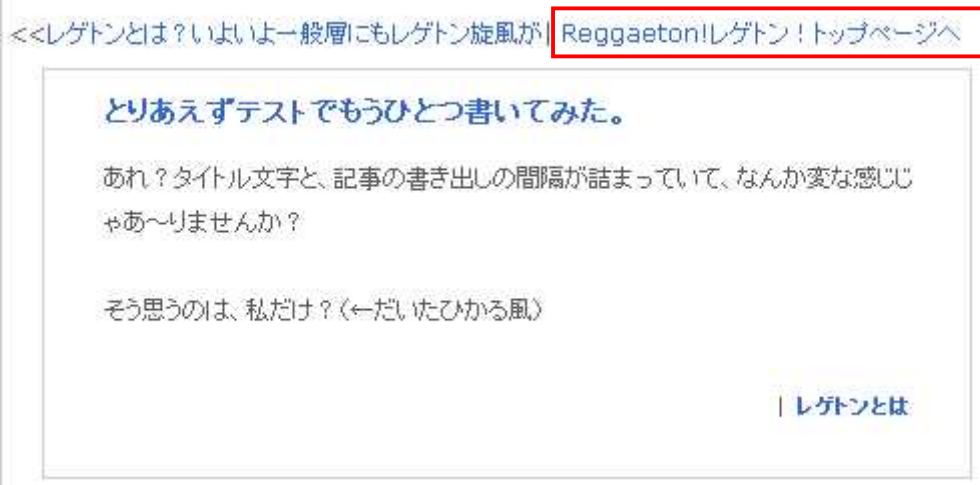
記事(ページコンテンツ)

```
<% content.header -%>
<!-- Content -->
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_article -%>&lt;&lt;&lt;<a href="<% previous_article.page_url %%"><%
previous_article.subject | tag_break %></a>| <% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %%">Main</a>
<% if:next_article -%>| <a href="<% next_article.page_url %%"><%
next_article.subject | tag_break %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
```

実は、この「Main」という文字は、「デザイン」「コンテンツ」「記事」「コンテンツHTML編集」の部分に書かれているのですが、これは、検索エンジン上位表示対策上、意識すべき、<a>タグに囲まれている文字ですし、すべての記事ページから、トップページに戻るリンクとなっていますので、「Main」という文字を、そのまま使うのは、もったいないです。

```
rticle' -%>
e -%>&lt;&lt;&lt;<a href="<% previous_article.page_u
ect | tag_break %></a>| <% /if -%>
_url %%">Reggaeton!レゲトン!トップページへ</a>
>| <a href="<% next_article.page_url %%"><%
| tag_break %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
```

ですので、このように、私の場合であれば、「Reggaeton」「レゲトン」という検索エンジン上位表示を狙うキーワードを盛り込んで、「Reggaeton!レゲトン!トップページへ」というように変更します。



さて、最後に、ちょっとした検索エンジン対策を意識した小技を紹介しましたが、

**常に「検索エンジン対策」を意識するのは、
インターネットビジネスを行なううえでは、非常に重要なことです。**

しかしながら、あなたが、もしブログを始めたばかりの初心者の方であれば、そのへんは、アタマの片隅にとどめておいて、

まずは、10記事、20記事と、ブログの記事を書くことに慣れてください。

私は、現在、いろいろな立場の方、境遇の方から、ブログアフィリエイトについての質問などをメールで受けていますが、初心者の方に限って、はじめから、こういったテクニク的な部分や、なによりも、1に「カネ」、2に「カネ」、3, 4がなくて、全部「カネ」(笑)といったように、あまりにも「収入」のことは――っかり先走って、肝心な部分をないがしろにします。

何度でも言いますが、私のアフィリエイトのスタートは、「趣味のホームページ」「ブログ」からでした。最初は、ぜんぜん、お金のことなど考えず、いかにして、多くの人に、自分のブログを見てもらうか？そこだけに集中していました。

ある意味、多くの人を集める力が身につけば、収入を得ることは、さほど難しくないんです。

では、多くの人を集め、かつ、定着させるために、本当に必要な部分は何か？

それは、**あなたのブログが、訪問者の役に立つかどうか？** 結局、それにかかっているんです。



Web 検索エンジン Google の謎 アフィリエイト編

水野 貴明 (著)

ソーテック社

価格 ¥ 1,580 + 税

<http://snipurl.com/jjum>



ヤフー!・グーグル SEO 対策テクニック

鈴木 将司 (著)

翔泳社

価格: ¥ 1,680 (税込)

<http://snipurl.com/kymi>

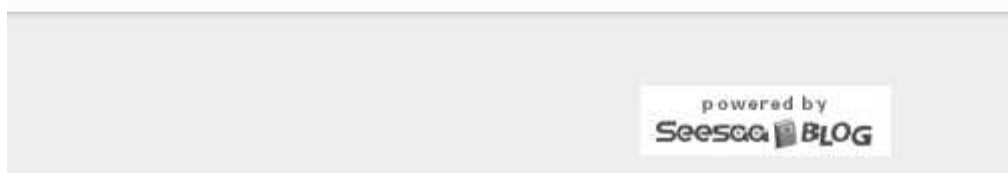
また、そろそろ検索エンジン対策もバリバリやるぞ～！という方には、上記の2冊の書籍が、超オススメです。

この2冊に書かれていることを、しっかりとマスターするだけでも、検索エンジン上位対策に関しては、かなり高いレベルのスキルを身に付けることができます。



さて、最後の最後に、もうひとつ。

シーサーブログの初期設定では、以上のように、個別記事の画面では、次の記事や、前の記事に移動するためのメニューが、記事の上に表示されます。



しかしながら、訪問者のことを考えると、このように、記事を読み終わった最後の部分に、こういったメニューがあったほうが、便利なような気がします。

さて、それでは、さっそく、この部分のカスタマイズの方法です。

訪問者おもいの優し～カスタマイズ

コンテンツHTML

記事(ページコンテンツ)

```
<% content.header -%>
<!-- Content -->
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_article -%>&lt;&lt;<a href="<% previous_article.page_url %%"><%
previous_article.subject | tag_break %></a>| <% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %%">ラーメン番長Main</a>
<% if:next_article -%>| <a href="<% next_article.page_url %%"><%
next_article.subject | tag_break %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'archive' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_archive -%>&lt;&lt;<a href="<% previous_archive.page_url %%"><%
previous_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>|<% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %%">Main</a>
<% if:next_archive -%>|<a href="<% next_archive.page_url %%"><%
next_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'category' -%>
<% /if -%>
<% loop:list_article -%>

<div class="blog">

<!--
<rdf:RDF xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"
xmlns:Trackback="http://madskills.com/public/xml/rss/module/Trackback/"
xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/">
```

まず、「コンテンツHTMLの編集」画面まで進んでいただき、赤枠で囲んだ、
<% if :page_name …… - % > から、**<% /if - % >** までを、
「Ctrl」キー + 「X」キーなどを使い、切り取って……

記事(ページコンテンツ)

```
<% content.header -%>
<!-- Content -->
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_article -%>&lt;&lt;&lt;<a href="<% previous_article.page_url %>"><%
previous_article.subject | tag_break %></a>| <% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %>">ラーメン番長Main</a>
<% if:next_article -%>| <a href="<% next_article.page_url %>"><%
next_article.subject | tag_break %></a>&gt;&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'archive' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_archive -%>&lt;&lt;&lt;<a href="<% previous_archive.page_url %>"><%
previous_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>| <% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %>">Main</a>
<% if:next_archive -%>| <a href="<% next_archive.page_url %>"><%
next_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>&gt;&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'category' -%>
<% /if -%>
<% loop:1
<div clas
<!--
<rdf:RDF
//www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#"
"http://madskills.com/public/xml/rss/module/Trackback/"
xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/">
```

```
</div>
<% /if -%>

<% /if -%>
<!-- /Content -->

<% content.footer -%>
```

< % content.footer - % >の直前に、さきほど切り取ったものを貼り付けます。

太 斜体 下線 打消 引用 背景色 文字色 大 小

[見る](#)

初期値に戻す(現在カスタマイズ) | を

```
<% /if -%>
<!-- /Content -->
<% if:page_name eq 'article' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_article -%&lt;&lt;<a href="<% previous_article.page_url %"><%
previous_article.subject | tag_break %></a>| <% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %">">ラーメン番長Main</a>
<% if:next_article -%>| <a href="<% next_article.page_url %"><%
next_article.subject | tag_break %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'archive' -%>
<div class="navi">
<% if:previous_archive -%&lt;&lt;<a href="<% previous_archive.page_url %"><%
previous_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>|<% /if -%>
<a href="<% blog.page_url %">">Main</a>
<% if:next_archive -%>|<a href="<% next_archive.page_url %"><%
next_archive.createstamp | date_format("%Y年%m月") %></a>&gt;&gt;<% /if -%>
</div>
<% /if -%>
<% if:page_name eq 'category' -%>
<% /if -%>

<% content.footer -%>
```

太 斜体 下線 打消 引用 背景色 文字色 大 小

[見る](#)

初期値に戻す(現在カスタマイズ) | を

そして、いつものように、変更したら、「保存」「再構築」を行ないます。



以上で、この部分のカスタマイズは終了です。

今回紹介した、ちょっとしたテクニックを知るだけでも、だいぶ、あなたのブログに、あなたの「色」を出すことができるようになったのではないのでしょうか？

それでは、無理せず、頑張っ勉強してくださいね